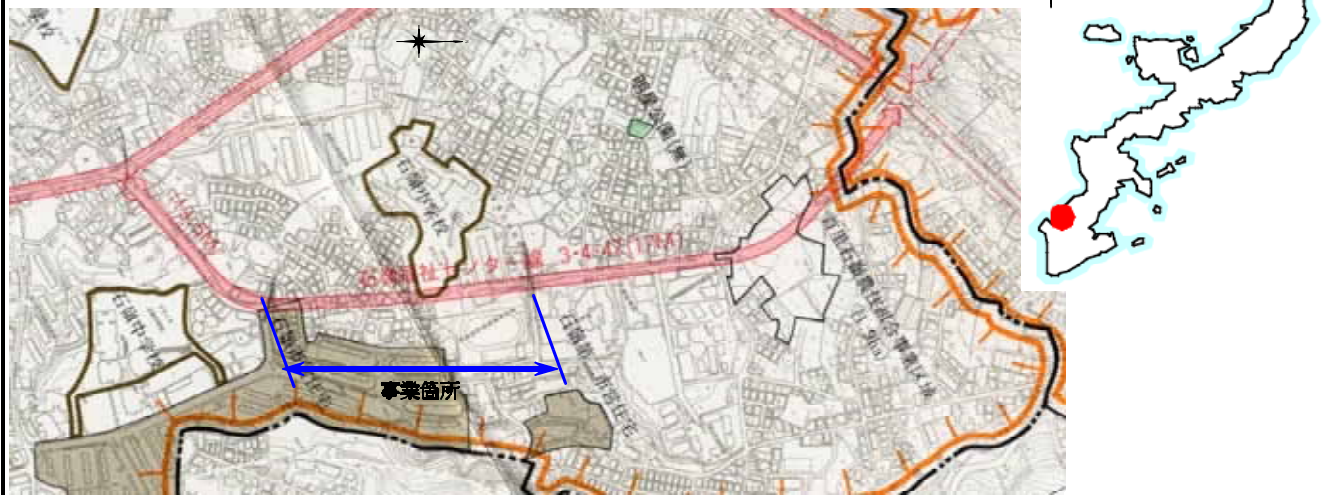


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局開発建設部建設産業・地方整備課
担当課長名：竹富 信也

事業名	都市計画道路 石嶺福祉センター線（1工区）	事業区分	街路	事業主体	沖縄県那覇市
起終点	自 沖縄県那覇市首里石嶺町2丁目 至 沖縄県浦添市前田4丁目	延長	0.38 km		
<p>事業概要：都市計画道路石嶺福祉センター線は、市道鳥堀石嶺線を起点に主要地方道宜野湾・南風原線に連結する延長1,280mの幹線道路の改築事業のうち、石嶺団地入り口付近から県立いしみね救護園まで384mの区間である。本線周辺には、多数の公共施設（沖縄県総合福祉センター等）が近接しているが、現況は地区幹線が無いため、これらの施設へのアクセスが悪く、地域生活において不便が生じている。浦添市、西原町と那覇北部地区のアクセスの安全・快適性及び都市計画道路石嶺線の通過交通量の負荷軽減と、首里石嶺農住組合土地区画整理事業と併せた地域まちづくり及び市民の福祉の増進を図るため整備を行う。</p>					
H10年度事業化		H7年度都市計画決定 (H15年度変更)		H11年度用地着手	
H15年度工事着手					
全体事業費	23億円	事業進捗率	80%	供用済延長	0.2 km
計画交通量	13,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益	
	(事業全体) 1.8 (残事業) 14.2	(残事業)/(事業全体) 2.6/24億円 (事業費：2.6/24億円 維持管理費：0.01/0.03億円)		(残事業)/(事業全体) 37/44億円 (走行時間短縮便益：38/48億円 走行経費減少便益：0.75/-1.0億円 交通事故減少便益：-1.5/-2.7億円)	
<p>事業の効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） 他のプロジェクトとの関係（那覇市都市内幹線道路網整備プログラムに位置づけられている） <p style="text-align: right;">他8項目に該当</p>					
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>首里石嶺地域の渋滞緩和と地域活性化の図るため、自治会、小中学校PTA、通り会、婦人会、などから早期整備の要請を受けている。（平成8年5月13日、平成12年12月25日）</p>					
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>本路線整備に合わせて民間が実施している、首里石嶺農住組合土地区画整理事業、石嶺北翔通り商店街整備計画等、大型店舗を含む沿道商業施設や県福祉施設ならびに周辺地域へのアクセスの向上や通学等歩行者の安全性の確保等に期待が大きい。</p>					
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>用地取得率は98%であり、現在0.2 kmを部分供用している。残り0.1 kmの区間が残工事となる。</p>					
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>一部の地権者において土地の相続問題等により取得までに期間を要するも、引き続き任意交渉を進め平成23年度に供用予定である。</p>					
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>再生材の使用により、資源の有効活用を図る。</p>					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。